第３９回『なかま』実践研究集会について

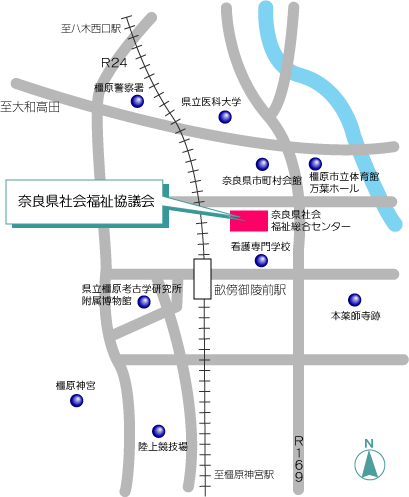
　平素は、人権教育の推進並びに本研究会発展のためご尽力を賜り深謝申しあげます。

　1960年に発刊された『なかま』は、子どもや地域のくらしに根ざした題材の教材化を進め、同和教育を「事実を通して正しい部落問題認識を培い豊かな人権感覚をはぐくむ教育」へと発展させる力となってきました。2002年には人権教育テキストとして全面改訂され、『なかま』は、多くの学校･園･所において様々な授業実践が展開されています。また県教育委員会からは、2012年度に『なかまとともに小学校１』、2013年度に『なかまとともに小学校２』、2014年度に『なかまとともに中学校』、2015年度に『なかまとともに高等学校』が発行され、『なかま』とあわせて活用されています。1988年に第１回が開催された本研究集会では、そのような『なかま』教材等を用いた取組を中心に、各校で開発された教材等を活用した授業や人権を基盤に据えた総合学習の展開についての実践交流を進めてきました。

本年も、『なかま』等の教材を活用した授業の報告を中心に、第39回『なかま』実践研究集会として、下記の要領にて開催いたします。

　つきましては、公務ご多用の折りとは存じますが、趣旨をご理解のうえ、多くの会員の派遣及び出張方、ご配慮賜りますようよろしくお願い申しあげます。

記



1. 主　　催　　奈良県人権教育研究会
2. 日　　時　　2026年2月6日（金） 13:00～
3. 会　　場 奈良県社会福祉総合センター

奈良県社会福祉総合センター

橿原市大久保町320-11

（近鉄畝傍御陵前駅　東出口から北東へ250m）

全体会：研修室BC

分科会：研修室BC・大会議室・中会議室

　　　　　　　　　　　　　公共の交通機関でお越しいただくか、

有料駐車場をご利用ください。

1. 研究テーマ

すべての子どもたちが、人権についての認識を深め、部落差別をはじめ様々な人権の問題を正しく理解・認識できるように、『なかま』を中心とする教材等をどのように位置づけ実践してきたか。

1. 日　　　程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 受付 | 全体会　講演 | | 休憩 | 分　　科　　会 |
| 挨拶  趣旨説明 | 演題：「やさしく　まじめに　おもしろく」  　　　　～　紙芝居で伝える「命」「平和」「人権」～  講師：絵かたりすと 畑中 廣之さん |

13:00 13:30 13:40　　　　　 　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　14:40 14:50 16:30

1. 参加費　　１，０００ 円 （資料代）
2. 参加申込　参加希望の方は、各郡市人教事務局に、１月　　 日までに申し込んでください。

手話通訳等配慮を要する場合は、奈人教事務局へ1月15日までにご連絡ください。

(0742-62-5555)

1. 全体会 講演　　「やさしく まじめに おもしろく」

　　　　　　　　 ～紙芝居で伝える「命」「平和」「人権」～

講師　　絵かたりすと　畑中 廣之さん

自作の紙芝居を取り入れた授業を続けています。絵と語りで、子どもたちの瞳が輝き、つぶやきが教室に広がる瞬間が好きです。「命」「平和」「人権」のテーマを「やさしく まじめに おもしろく」伝える紙芝居を目指して実演します。

この度、部落解放同盟比曽支部より、新しく紙芝居と絵本を制作する機会をいただき、成人用『なかま』と中学生用『にんげん』を参考にしながら、完成しました。人権・部落問題学習の授業や研修に、ご活用くだされば幸いです。

1. 分科会
2. 部落問題学習を通して見えてきたこと

香芝市立香芝中学校 ２年生学年集団

第１学年では、福祉体験学習を通して障がい者理解、また性的多様性についての講話や、ちがいのちがいなど様々な人権学習をした。これらに加えて、第２学年では、同和問題、部落差別の歴史について学び、正しく理解することを目的とし、学習前後での心の変容をみるとともに、見た目にとらわれて行動してしまう生徒の人権感覚を豊かにし、よりよい人間関係を築いていく活動につなげていきたい。

1. 「真美中の学び～自分も大事 人も大事～」

広陵町立真美ヶ丘中学校　　２年学年集団

本校の2年生では、部落問題学習を中心とした人権学習を行っている。1学期には部落がつくられた歴史的背景を学習し、夏休みには有志で御所市の水平社博物館周辺のフィールドワークを行った。2学期には、学年集会で報告会を行った。「なかまとともに」を使って、教科書無償の闘いと統一応募用紙についての学習も行った。部落差別のみならず、あらゆる差別に気づきそれらをなくすにはどういう行動をとれば良いかを考えさせた。

1. 「聴き合い・学び合う」授業で育む学ぶ力

奈人教研究推進委員会 進路・学力保障部会

本部会は、子どもたち一人一人が主体的に学習に取り組み、深い学びを得ることをめざして、「聴き合い、学び合う」授業の創造に取り組んできた。単に知識を伝達するだけでなく、子どもたち同士の対話と協働を通して、思考力・表現力・自己理解・他者理解を育み、自分たちで学びを獲得していくために、私たち教員ができることは何かということを考えてきた。「子どもたちの学ぶ姿から深く学ぶ」ことから、私たち部会員も対話を通して実践的に学び合えるように研修を進めた。そういった活動から、子どもたちの「学ぶ力」を育むことこそ、学力保障や進路保障につながっていくということが見えてきた。まだまだ研究半ばではあるが、私たちが学んできたことを報告する。

第39回『なかま』実践研究集会　参加申込書

所　属 　　 　　　　　　校・園・所

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 分科会番号 | 名　　前 | № | 分科会番号 | 名　　前 |
| １ |  |  | ３ |  |  |
| ２ |  |  | ４ |  |  |

各郡市人教事務局に、１月　　　日までに申し込んでください